

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	67	大学等名	東北公益文科大学
テーマ	テーマV 卒業時における質保証の取組の強化		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・学長の強いリーダーシップの下で、各種取組を着実に実施している。ディプロマ・ポリシーに定める4つのスキルを教育に反映させるため、ルーブリック開発を開始したことは評価できる。
- ・学生のキャリア形成等に資するため、地域・大学協働人材育成プログラムの一環で合同勉強会を実施するなど、社会人との対話の機会を設定する取組を進めたほか、地元自治体からの寄附講座の開設や公務員の就活サポートセミナーを実施した。これらの取組は就職率97.4%達成に貢献しており、評価できる。
- ・事業推進に係るノウハウを持つ教職員を中核としつつ、FD・SDにより補助期間終了後も見据えた人材育成に取り組んでいることは評価できる。また、取組の進捗や達成状況の評価において、事業計画段階で設定した重要評価指標をエビデンスとして用いていることも評価できる。
- ・大学改革の成果として、本大学が各種の大学ランキングに取り上げられるようになってきている。社会の注目度を高め、マスコミの力を利用して取組の波及を図ろうとしていることも評価できる。

<改善を要する点>

- ・地域・大学協働人材育成プログラム・ワーキンググループ会議を外部評価委員会と位置付けているが、助言や後援をする立場と評価する立場の人間が同じである点が懸念される。客観性の担保について十分に検討する必要がある。
- ・事業成果の普及について、他大学との連携・協力をより進めることを検討する必要がある。
- ・テーマ別幹事校への協力として、ポータルサイトへの随時情報掲載と担当者会議等への参加がなされているが、今後はより主体的な協力が必要である。